

ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型)～ハイイールドファンド～

米ドル・コース(毎月分配型)／豪ドル・コース(毎月分配型)／ブラジル・リアル・コース(毎月分配型)／
日本円・コース(毎月分配型)／南アフリカ・ランド・コース(毎月分配型)／トルコ・リラ・コース(毎月分配型)／
通貨セレクト・コース(毎月分配型)

足元の運用状況と今後の見通し

投資対象とする外国投資信託の投資顧問会社であるJ.P.モルガン・インベストメント・マネージメント・インクの
コメントを基に大和投資信託が作成したものです。

2018年7月13日

平素は、「ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型)～ハイイールドファンド～」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。
当ファンドの足元の運用状況と今後の見通しについて、お知らせいたします。

お伝えしたいポイント

- ① 米ドル建てハイ・イールド債券発行企業の財務体質は改善傾向
- ② 米ドル建てハイ・イールド債券の利回りは魅力的な水準
- ③ 新興国通貨は今後の政治動向に注目

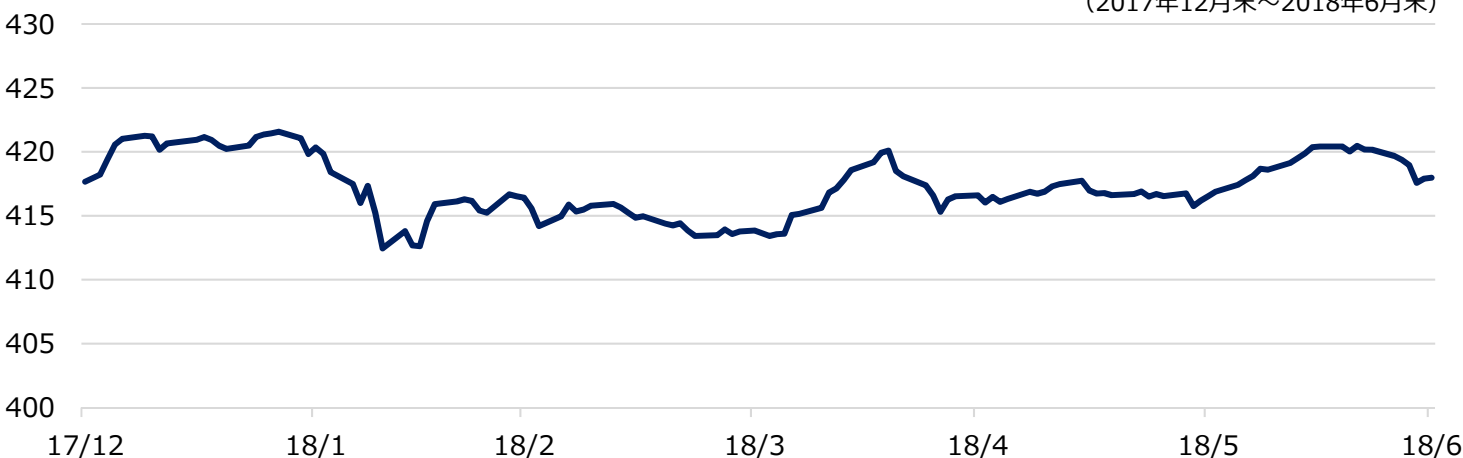
2018年上半期の米ドル建てハイ・イールド債券市場動向

＜米ドル建てハイ・イールド債券市場動向＞

年初来の米ドル建てハイ・イールド債券市場のパフォーマンスは、インカム収入がプラス要因となったものの、各国の政治的不透明感や貿易摩擦を背景とする市場のリスク回避姿勢から、米ドル建てハイ・イールド債券価格が下落し、ほぼ横ばいとなりました。

米ドル建てハイ・イールド債券指数の推移

(2017年12月末～2018年6月末)



※ICE BofAメリルリンチ・USハイ・イールド・コンストレインド・インデックスを使用。

(出所) ICE Data Services

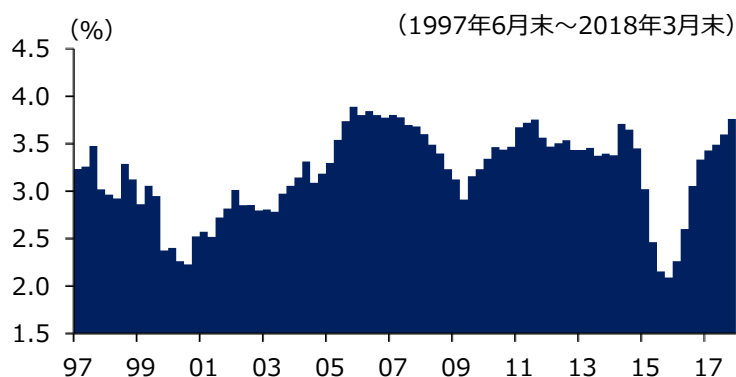
2018年上半期の米ドル建てハイ・イールド債券市場動向

<米ドル建てハイ・イールド債券発行企業の財務状況>

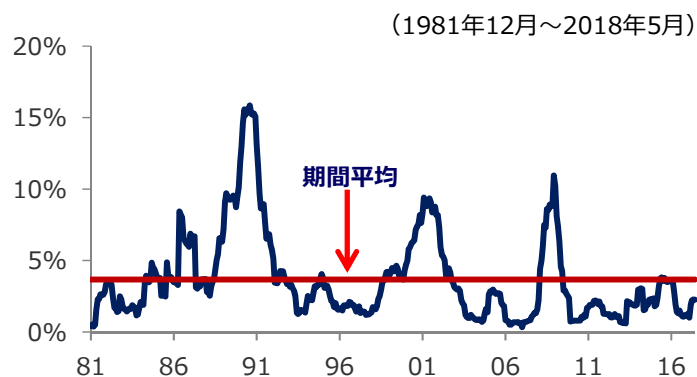
米ドル建てハイ・イールド債券発行企業のファンダメンタルズは引き続き改善しており、堅調さを維持しています。企業の収益は前年比10%程度の成長（2018年1-6月期）を遂げています。また、企業の利払い能力を表すインタレスト・カバレッジ・レシオも過去数年間で大幅に改善し、過去の水準と比較しても企業財務は良好な水準にあると考えられます。

米ドル建てハイ・イールド債券市場のデフォルト率は2.26%（5月時点）と足元上昇しましたが、依然長期平均と比較すると低い水準にあります。足元デフォルト率が上昇した背景としては、一部の大型銘柄がデフォルトしたことによるものであり、市場全体のファンダメンタルズが悪化したものとは考えておりません。今後も米ドル建てハイ・イールド債券市場の堅調なファンダメンタルズを反映し、デフォルト率は低位で推移すると予想しています。

インタレスト・カバレッジ・レシオの推移



デフォルト率の推移



※上記は、米ドル建てハイ・イールド債券発行企業のものであります。※インタレスト・カバレッジ・レシオはEBITDA/支払利息等で表されます。また、EBITDAは、【Earnings Before Interest, Taxes, Depreciation and Amortization】の略で、利払い前税引き前償却前利益のことです。簡易的には、営業利益＋減価償却費で表されます。※デフォルト率は、JPモルガン証券が算出した米ドル建てハイ・イールド債券市場デフォルト率（額面ベース）を使用。※期間平均は1981年1月から2018年5月の平均。

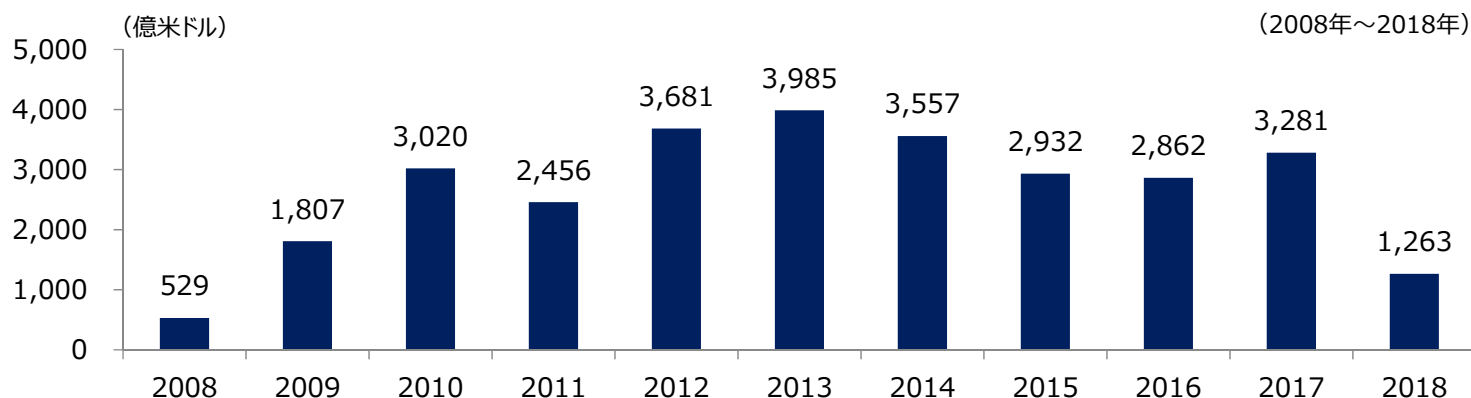
（出所）BofAML High Yield Research、JPMorgan Chase & Co、Moody's Investor Services

<米ドル建てハイ・イールド債券の需給環境>

年初来の米ドル建てハイ・イールド債券の新規発行額は1,263億ドル（6月末時点）であり、過去数年間と比較すると発行額は少ないペースで推移しています。また、発行された債券の大部分がリファイナンスであり、市場の供給状況は健全な水準であると考えられます。

一方、需要面については米国の投資信託の資金フローは年初来流出が続いているものの、アジア地域を中心とする機関投資家からの需要は根強く、高い利回り獲得を狙った投資行動は継続すると見込まれています。

社債新規発行額の推移



※上記は、米ドル建てハイ・イールド債券発行企業のものであります。※2018年は6月末までのものです。

（出所）JPMorgan Chase & Co

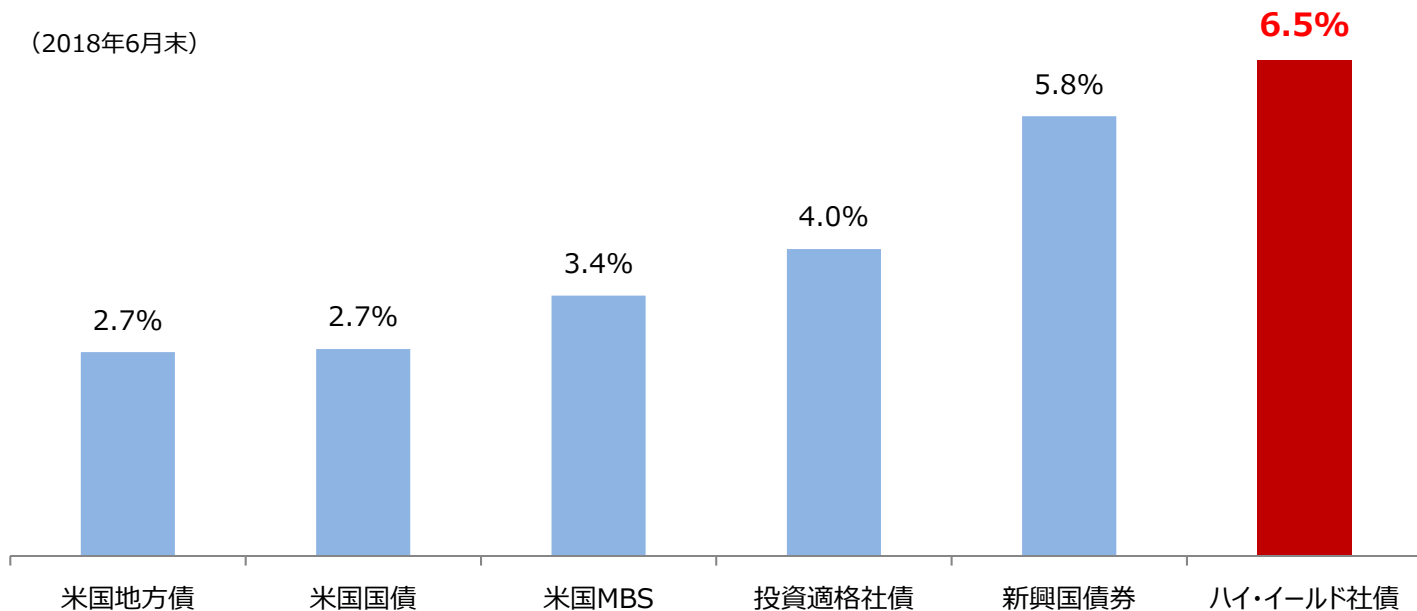
米ドル建てハイ・イールド債券市場の今後の見通しと運用方針

米国債利回りの上昇や年初来のスプレッド（国債に対する上乗せ金利）拡大を背景に、米ドル建てハイ・イールド債券の利回りは上昇傾向を辿っていますが、これまでにみたように、米国ハイ・イールド債券市場のファンダメンタルズ、需給環境は相対的に堅調であり、足元の利回りは相対的に魅力的な水準にあると考えています。

今後の米国ハイ・イールド債券市場においては、緻密な調査・分析を基にした銘柄選択の重要性が一段と高まっていると考えられます。2017年は米国ハイ・イールド債券市場の全業種がプラスのリターンであった一方、2018年については年初来のパフォーマンスにおいてセクターごとに明暗が分かれている展開です。このような市場環境においては、セクターを取り巻く環境の変化を把握し、個別企業との対話や事業・財務状況の分析を通じて確信度の高い投資を行うことが重要と考えます。当ファンドでは引き続き、ボトムアップ分析による銘柄選別を重視し、安定した収益の確保をめざして運用を行う方針です。

米ドル建て主要債券指数の利回り比較

（2018年6月末）



※利回りは最低利回りを使用。※上記の指数は、以下の指数を使用。米国地方債：Blomberg Barclays Municipal Bond Index、米国国債：Blomberg Barclays US Treasury Index、米国MBS：Blomberg Barclays US MBS Index、投資適格社債：Blomberg Barclays US Corporate Index、新興国国債：Blomberg Barclays EM USD Aggregate Index、ハイ・イールド社債：Blomberg Barclays US Corporate High Yield Index。※各資産は異なるリスク特性を持つものであり、利回りの比較はあくまでご参考です。※上記の利回りは変動します。

（出所）Bloomberg

為替市況と今後の見通し

<ブラジル・レアルの市況と今後の見通し>

ブラジル・レアルは、年初来対円で下落（円高）傾向で推移しました。米国金利の上昇に伴う新興国からの資金流出懸念やイタリアの政治問題、米国の通商問題等により、グローバル金融市場全体のリスク回避姿勢が強まった他、国内の政治懸念の高まりもあり、ブラジル・レアルは下落しました。

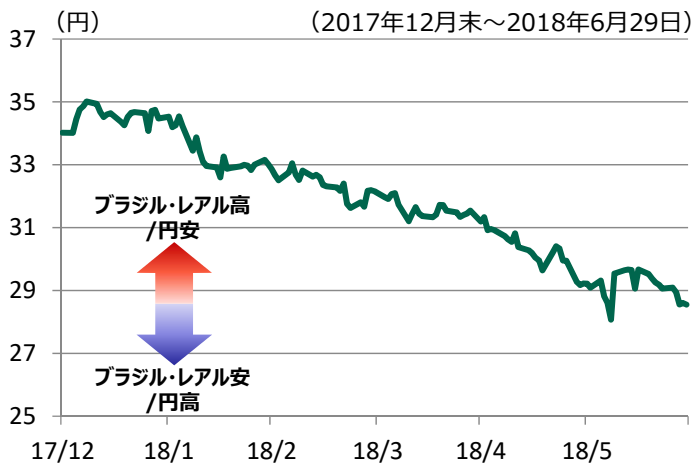
今後に関しては、2018年10月に行われる大統領選挙の見通しが不透明な状況にあり、ブラジル・レアルは不安定な状況が続きやすいと思われます。長期的には、国内外の不透明感が和らいでいけば、景気回復や相対的に高い利回り水準が、ブラジル・レアルの下支え要因になると考えられます。

<トルコ・リラの市況と今後の見通し>

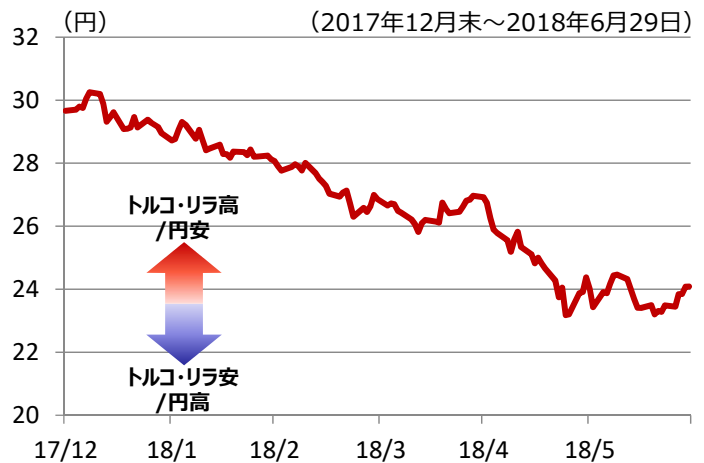
トルコ・リラは、年初来対円で下落（円高）傾向で推移しました。年初から5月半ばにかけてはグローバル金融市場でリスク回避姿勢が強まった他、トルコ国内においてエルドアン大統領が利下げを志向することを繰り返し表明したことで中央銀行に対する信認が低下したことなどが、トルコ・リラの下落要因となりました。5月下旬以降は、中央銀行による大幅利上げや大統領選挙の結果を受けて、トルコ・リラは下げ止まっています。

今後に関しては、グローバル金融市場の動向の他、エルドアン大統領による政策運営が注目点であると思われます。長期的には、トルコの構造的な経常赤字に対してエルドアン大統領が積極的に対処する意思を示せばトルコ・リラの支援材料になると考えられます。

ブラジル・レアル（対円）の推移



トルコ・リラ（対円）の推移



(出所) ブルームバーグ

“ICE BofAML Index” is a service/trade mark of ICE Data Indices, LLC or its affiliates (“ICE Data”) and has been licensed, along with the ICE BofAML Index (“Index”) for use by LICENSEE in connection with Daiwa US High Yield Bond Fund (the “Fund”). Neither the LICENSEE nor the Fund, as applicable, is sponsored, endorsed, sold or promoted by ICE Data. ICE Data makes no representations or warranties regarding the advisability of investing in securities generally, in the Fund particularly, the ability of the Index to track general stock market performance.

ICE DATA AND ITS RESPECTIVE THIRD PARTY SUPPLIERS MAKE NO EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, AND HEREBY EXPRESSLY DISCLAIMS ALL WARRANTIES OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE WITH RESPECT TO THE INDEX, INDEX VALUES OR ANY DATA INCLUDED THEREIN. IN NO EVENT SHALL ICE DATA HAVE ANY LIABILITY FOR ANY SPECIAL, PUNITIVE, DIRECT, INDIRECT, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING LOST PROFITS), EVEN IF NOTIFIED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

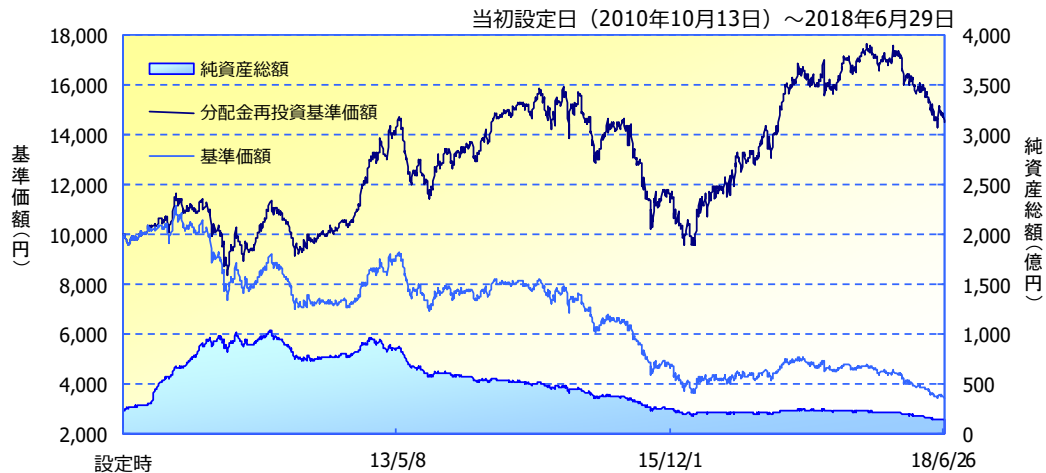
《基準価額・純資産の推移》

【ブラジル・リアル・コース（毎月分配型）】

2018年6月29日現在

基準価額	3,442 円
純資産総額	141億円

期間別騰落率	
期間	ファンド
1か月間	-0.6 %
3か月間	-8.5 %
6か月間	-14.7 %
1年間	-10.8 %
3年間	+2.5 %
5年間	+15.1 %
年初来	-14.7 %
設定来	+44.8 %

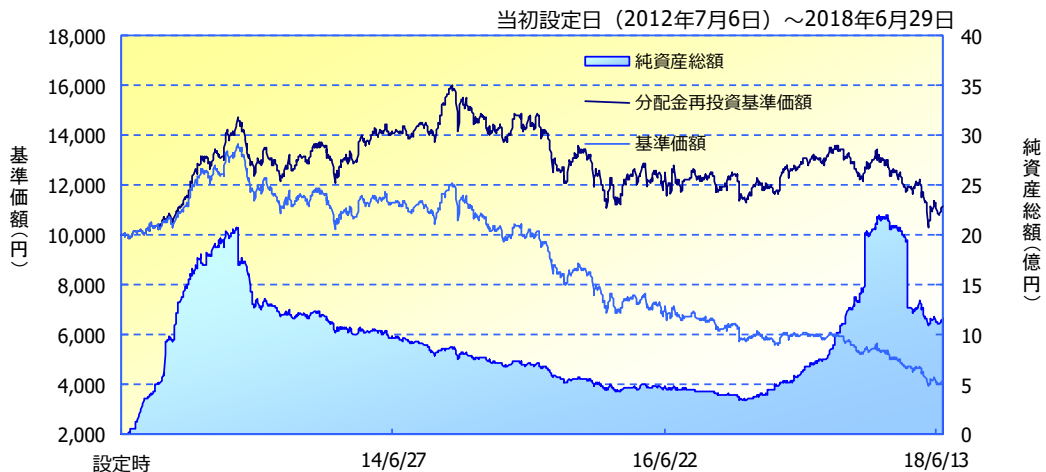


【トルコ・リラ・コース（毎月分配型）】

2018年6月29日現在

基準価額	4,117 円
純資産総額	11億円

期間別騰落率	
期間	ファンド
1か月間	+0.1 %
3か月間	-6.9 %
6か月間	-15.1 %
1年間	-15.0 %
3年間	-22.3 %
5年間	-12.9 %
年初来	-15.1 %
設定来	+11.5 %



※「分配金再投資基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。

※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用（信託報酬）は控除しています（後述のファンドの費用をご覧ください）。

※「期間別騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の月末までとし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しています。

※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

※上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものです。■当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しの「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認ください。■投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみなさまの実質的な投資成果を示すものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。■分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒ 大和投資信託 フリーダイヤル0120-106212（営業日の9:00～17:00）HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

大和投資信託

Daiwa Asset Management

ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型)～ハイールドファンド～

米ドル・コース(毎月分配型)／豪ドル・コース(毎月分配型)／ブラジル・レアル・コース(毎月分配型)／
日本円・コース(毎月分配型)／南アフリカ・ランド・コース(毎月分配型)／トルコ・リラ・コース(毎月分配型)／
通貨セレクト・コース(毎月分配型)

収益分配金に関する留意事項

- ◆ 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

投資信託で分配金が
支払われるイメージ

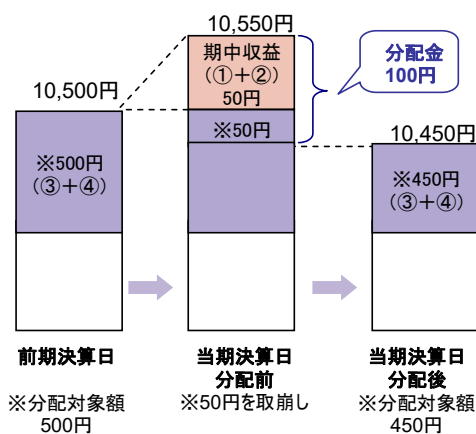
投資信託の純資産

分配金

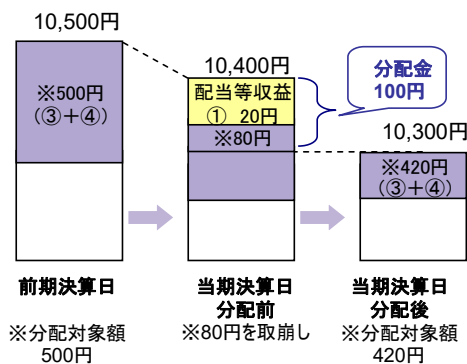
- ◆ 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算日から基準価額が上昇した場合



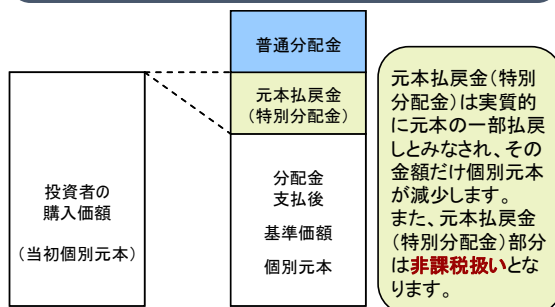
前期決算日から基準価額が下落した場合



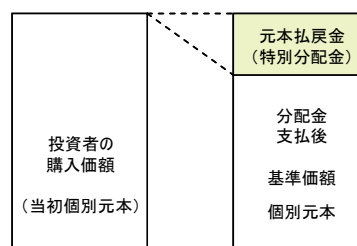
(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

- ◆ 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金：個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の(特別分配金)額だけ減少します。

※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

※5ページ目の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をよくお読みください。

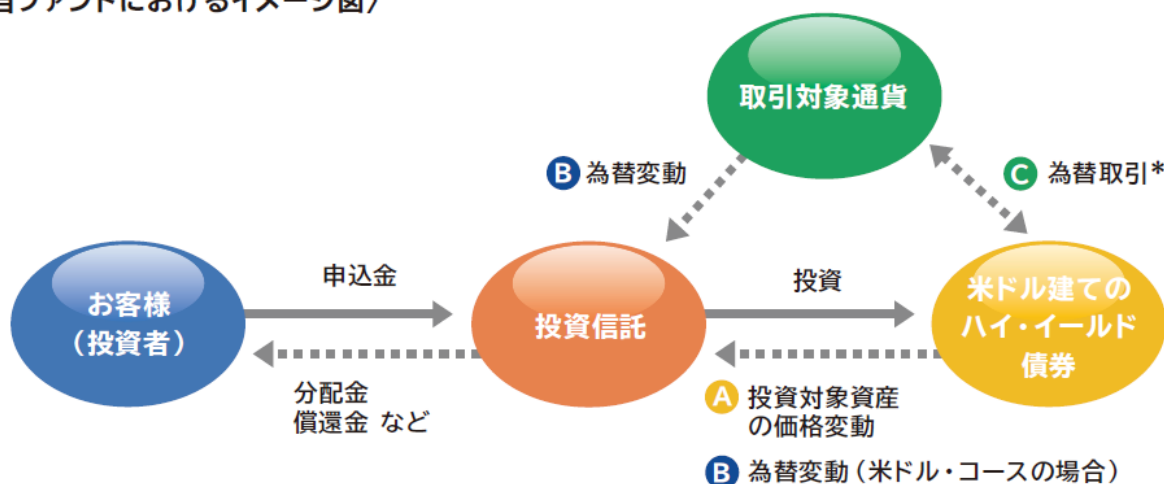
ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型)～ハイイールドファンド～

米ドル・コース(毎月分配型)／豪ドル・コース(毎月分配型)／ブラジル・レアル・コース(毎月分配型)／
日本円・コース(毎月分配型)／南アフリカ・ランド・コース(毎月分配型)／トルコ・リラ・コース(毎月分配型)／
通貨セレクト・コース(毎月分配型)

通貨選択型ファンドの収益のイメージ

- 通貨選択型の投資信託は、株式や債券などといった投資対象資産に加えて、為替取引の対象となる円以外の通貨も選択することができるよう設計された投資信託です。

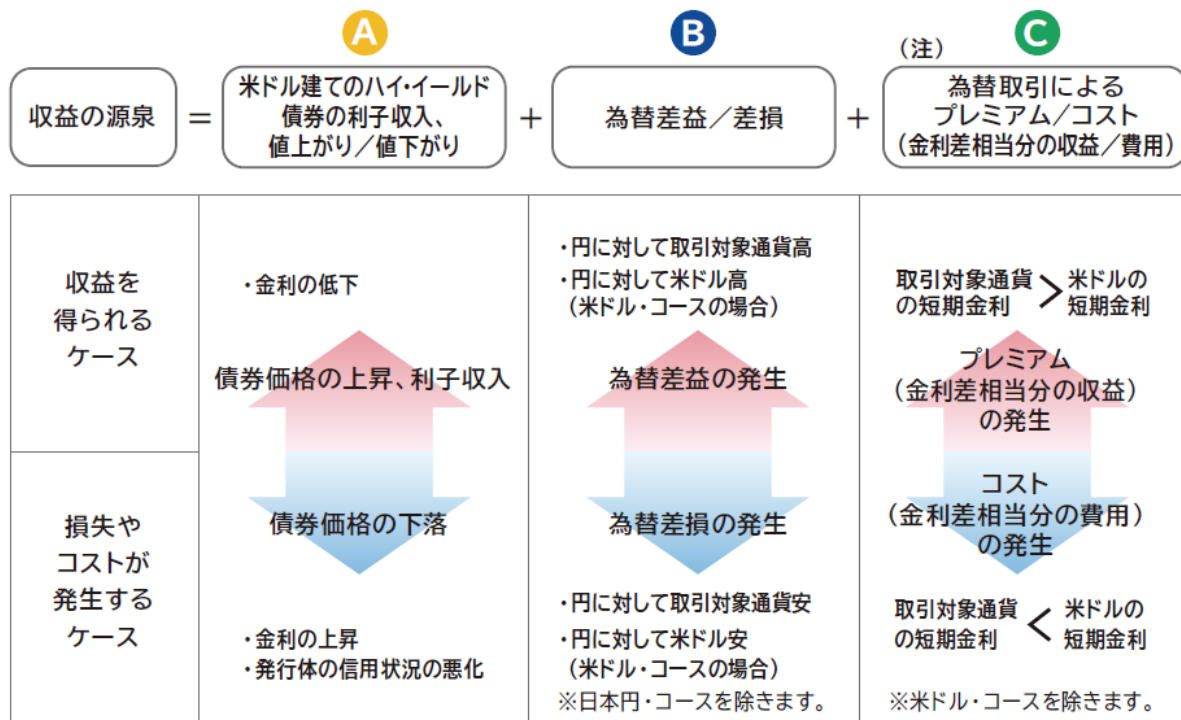
〈当ファンドにおけるイメージ図〉



*取引対象通貨が円以外の場合には、当該取引対象通貨の対円での為替リスクが発生することに留意が必要です。

- 当ファンドの収益源としては、以下の3つの要素が挙げられます。

これらの収益源に相応してリスクが内在していることに注意が必要です。



(注) 取引対象通貨が新興国通貨の場合、為替取引を行なう際にNDF取引を利用することがあります。

NDF取引を用いて為替取引を行なう際、プレミアム／コストは、金利差から期待される水準と大きく異なる場合があります。

※上記はイメージであり、実際の投資成果を示唆、保証するものではありません。

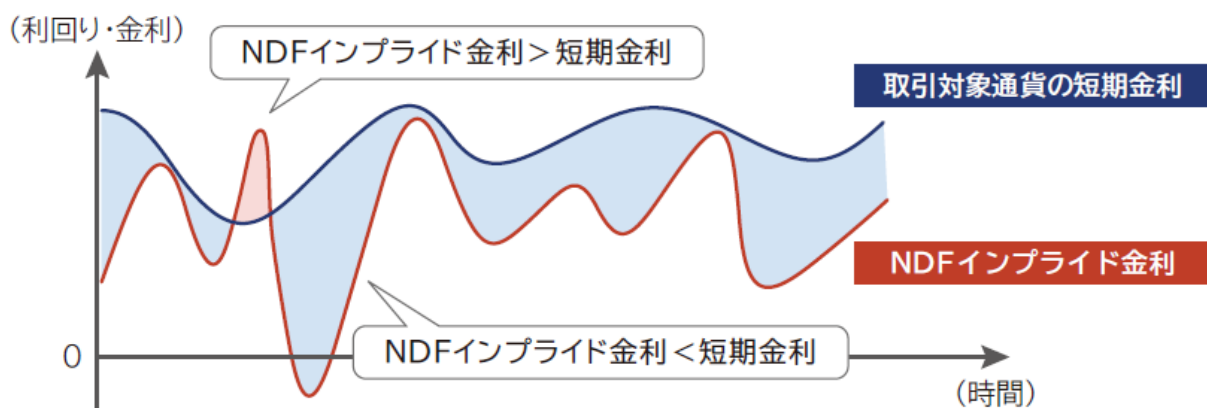
ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型)～ハイールドファンド～

米ドル・コース(毎月分配型)／豪ドル・コース(毎月分配型)／ブラジル・レアル・コース(毎月分配型)／
日本円・コース(毎月分配型)／南アフリカ・ランド・コース(毎月分配型)／トルコ・リラ・コース(毎月分配型)／
通貨セレクト・コース(毎月分配型)

NDF取引とは

- ◆取引対象通貨を用いた受け渡しは行わず、米ドル等の主要通貨による差金決済を相対で行なう取引です。
- ◆NDF取引価格から算出される“NDFインプライド金利”は、市場の流動性が低く、割高や割安を是正する動き(裁定)が働きにくいことから、市場参加者の期待や需給などの要因により、**取引対象通貨の短期金利の水準から大きく乖離する場合があります。**

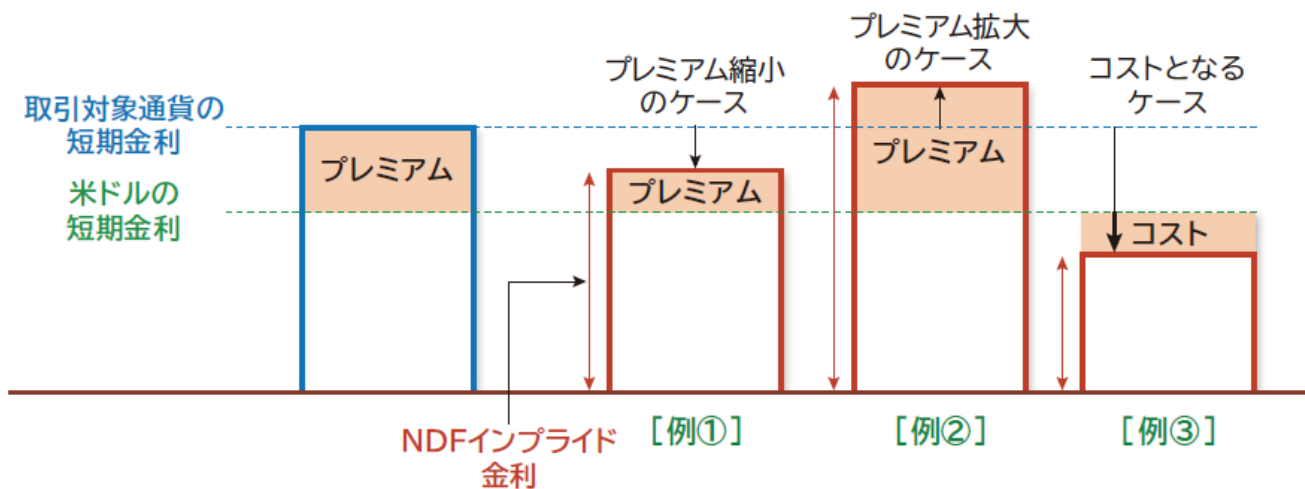
NDFインプライド金利と取引対象通貨の短期金利が乖離するイメージ



※上記はイメージであり、当ファンドのパフォーマンスとは異なります。

NDFインプライド金利の変動の影響

- ◆市場参加者の通貨上昇(下落)期待や需給などにより、NDFインプライド金利は低く(高く)なる可能性があります。NDFインプライド金利が取引対象通貨の短期金利より低く(高く)なると、**為替取引によるプレミアム(金利差相当分の収益)**が縮小【例①】(拡大【例②】)し、場合によっては**為替取引によるコスト(金利差相当分の費用)**となるケース【例③】もあります。



※上記はイメージであり、実際のプレミアム／コストとは異なります。

※上記は投資成果を示唆、保証するものではありません。

ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型)～ハイイールドファンド～
米ドル・コース(毎月分配型)／豪ドル・コース(毎月分配型)／ブラジル・リアル・コース(毎月分配型)／
日本円・コース(毎月分配型)／南アフリカ・ランド・コース(毎月分配型)／トルコ・リラ・コース(毎月分配型)／
通貨セレクト・コース(毎月分配型)

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

ファンドの目的・特色

ファンドの目的

- 米ドル建ての高金利社債^(※)に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。
- (※) 以下「ハイ・イールド債券」といいます。

ファンドの特色

- 1. 米ドル建てのハイ・イールド債券に投資します。
- 2. 為替取引の対象通貨が異なる 7 つのコースがあります。

コース名	為替取引の内容	取引対象通貨
米ドル・コース		
豪ドル・コース	米ドル建ての資産に対して米ドル売り／豪ドル買い	豪ドル(注1)
ブラジル・リアル・コース	米ドル建ての資産に対して米ドル売り／ブラジル・リアル買い	ブラジル・リアル(注1)
日本円・コース	為替ヘッジを行いません。 (米ドル建ての資産に対して米ドル売り／日本円買い(注2))	日本円
南アフリカ・ランド・コース	米ドル建ての資産に対して米ドル売り／南アフリカ・ランド買い	南アフリカ・ランド(注1)
トルコ・リラ・コース	米ドル建ての資産に対して米ドル売り／トルコ・リラ買い	トルコ・リラ(注1)
通貨セレクト・コース	米ドル建ての資産に対して米ドル売り／選定通貨(注3) 買い	選定通貨(注1)

※7 つのコースの間でスイッチング(乗換え)を行なうことができます。

(注 1) 円に対して取引対象通貨高となった場合、基準価額の上昇要因となります。円に対して取引対象通貨安となった場合、基準価額の下落要因となります。

(注 2) 為替変動リスクの低減を図ります。ただし、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。

(注 3) 選定通貨とは、投資対象とする外国投資信託の投資顧問会社が選定する通貨をいいます。

原則として、FTSE 世界国債インデックスおよび JP モルガン ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット プロードの構成国の通貨の中から、金利が高い順に 5 つの通貨を選定します。

なお、選定した通貨のうち、投資顧問会社が為替取引を行なうことができない通貨があった場合、投資顧問会社は次に金利が高い通貨を選定します。

米ドルを選定する場合、米ドル部分に対する為替取引は行ないません。

◆各ファンドの略称としてそれぞれ次を用いることがあります。

ファンドの名称	略称	
ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型) 米ドル・コース(毎月分配型)	米ドル・コース (毎月分配型)	米ドル・コース
ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型) 豪ドル・コース(毎月分配型)	豪ドル・コース (毎月分配型)	豪ドル・コース
ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型) ブラジル・リアル・コース(毎月分配型)	ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)	ブラジル・リアル・コース
ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型) 日本円・コース(毎月分配型)	日本円・コース (毎月分配型)	日本円・コース
ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型) 南アフリカ・ランド・コース(毎月分配型)	南アフリカ・ランド・コース (毎月分配型)	南アフリカ・ランド・コース
ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型) トルコ・リラ・コース(毎月分配型)	トルコ・リラ・コース (毎月分配型)	トルコ・リラ・コース
ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型) 通貨セレクト・コース(毎月分配型)	通貨セレクト・コース (毎月分配型)	通貨セレクト・コース

◆各ファンドの総称を「ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型)～ハイイールドファンド～」とします。

3. 毎月 12 日(休業日の場合翌営業日)に決算を行ない、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。

4. 当ファンドは、複数の投資信託証券に投資する「ファンド・オブ・ファンズ」です。

◆J.P.モルガン・インベストメント・マネージメント・インクが運用する外国投資信託の受益証券を通じて、米ドル建てのハイ・イールド債券に投資し、「米ドル・コース」を除き、米ドル建ての資産に対して米ドル売り／対象通貨買いの為替取引を行ないます。

※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型)～ハイイールドファンド～

米ドル・コース(毎月分配型)／豪ドル・コース(毎月分配型)／ブラジル・リアル・コース(毎月分配型)／
日本円・コース(毎月分配型)／南アフリカ・ランド・コース(毎月分配型)／トルコ・リラ・コース(毎月分配型)／
通貨セレクト・コース(毎月分配型)

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

FTSE 世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLC により運営されている債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLC は、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLC は、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利は FTSE Fixed Income LLC に帰属します。

投資リスク

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「公社債の価格変動（価格変動リスク・信用リスク、ハイ・イールド債券への投資リスク）」、「為替変動リスク」、「カントリー・リスク」、「その他（解約申込みに伴うリスク等）」

〈「米ドル・コース、日本円・コース」以外のコース〉

取引対象通貨の為替レートが円高方向に進んだ場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。

新興国通貨の為替レートは短期間に大幅に変動することがあり、先進国通貨と比較して、相対的に高い為替変動リスクがあります。

投資対象資産の通貨である米ドルの為替変動リスクを完全に排除することはできませんので、基準価額は円に対する米ドルの為替変動の影響を受ける場合があります。なお、取引対象通貨の金利が米ドルの金利より低いときには、金利差相当分がコストとなり、需給要因等によっては、さらにコストが拡大することもあります。

〈「米ドル・コース」〉

組入外貨建資産について、米ドルが円に対して米ドル安の方向に進んだ場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。

〈「日本円・コース」〉

為替変動リスクの低減を図ります。ただし、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。なお、為替ヘッジを行なう際、日本円の金利が米ドルの金利より低いときには、金利差相当分がコストとなり、需給要因等によっては、さらにコストが拡大することもあります。

※NDF 取引を用いて為替取引を行なう場合、コストは需給や規制等の影響により、金利差から期待される水準と大きく異なる場合があります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「投資リスク」をご覧ください。

ダイワ米国高金利社債ファンド(通貨選択型)～ハイールドファンド～

米ドル・コース(毎月分配型)／豪ドル・コース(毎月分配型)／ブラジル・リアル・コース(毎月分配型)／
日本円・コース(毎月分配型)／南アフリカ・ランド・コース(毎月分配型)／トルコ・リラ・コース(毎月分配型)／
通貨セレクト・コース(毎月分配型)

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 <上限>3.24%(税抜3.0%) スイッチング(乗換え)による購入時の申込手数料については、販売会社にお問合わせください。	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。
信託財産留保額	ありません。	—
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用(信託報酬)	年率 1.1664% (税抜 1.08%)	運用管理費用の総額は、毎日、信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。
投資対象とする投資信託証券	(米ドル・コース)・・・年率 0.58%程度 (米ドル・コース、通貨セレクト・コース以外)・・・年率 0.59%程度 (通貨セレクト・コース)・・・純資産総額に応じて 100 億円以下の部分：年率 0.74%程度 100 億円超の部分：年率 0.69%程度	投資対象ファンドにおける運用管理費用等です。
実質的に負担する運用管理費用	(米ドル・コース) 年率 1.7464%(税込)程度 (純資産総額によっては上回る場合があります。) (米ドル・コース、通貨セレクト・コース以外) 年率 1.7564%(税込)程度 (純資産総額によっては上回る場合があります。) (通貨セレクト・コース) 年率 1.9064%(税込)程度 (純資産総額によっては上回る場合があります。)	
その他の費用・手数料	(注)	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

(注)「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせください。
※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。
※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「手続・手数料等」をご覧ください。

販売会社:

大和証券

Daiwa Securities

商号等

大和証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第108号

加入協会

日本証券業協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人金融先物取引業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

設定・運用:

大和投資信託

Daiwa Asset Management

商号等

大和証券投資信託委託株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号

加入協会

一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会